【地区別状況】

|  |  |
| --- | --- |
| ①地区名 | JR上野芝駅周辺地区 |
| ②基本構想策定時期 | 平成14年度（2002年度） |
| ③地区選定理由 | （１）交通バリアフリー基本構想策定にあたっての第１次抽出の視点  ②高齢化の進展、障害者の利用が多いと考えられ、その移動ニーズヘの対応が急務である地区  ③主要な公共公益施設が立地または計画されている地区  ④駅の改良・新設および駅周辺地区の開発・整備が計画されている地区  （２）平成14年度基本構想策定地区の絞込み理由  ○主要な福祉施設等が分布する地区 |
| ④基礎情報 | 【1日平均乗降客数】  （平成11年度）17,383人⇒（平成30年度）17,518人  【地区特性（策定当時）】  ・本地区は、6つの支所区域の内「西地域」に位置している。  ・本地区は、主に戦前から開発された住宅地が広がっており、近年はマンション開発が進んでいる地区である。  ・駅の東側に駅前広場が整備されており、バス停留所が設置されている。  ・駅周辺地区には、市立百舌鳥養護学校、堺聾学校などの障害者施設や医療施設が立地している。  【令和元年度の特定道路指定延長の状況】  1.8㎞（うち、未整備区間1.6㎞） |
| ⑤基本構想策定当時の課題 | ○鉄道駅  ・駅の構内・構外ともエレベーター等の段差解消施設が未整備であり、現在は、プラットホームヘの専用スロープが設置されている。  ・障害者用のトイレなど、利便施設の整備、案内サインの改良など利便性の高い施設への更新が課題。  ○駅前広場  ・駅前広場におけるバス関連施設等の改良。  ○道路  ・地形上、一般道路から駅前広場までの高低差がある為、これを解消するための施設整備の検討が課題。  ・地区内の歩道は、狭い箇所が多く、歩道の有効幅員の確保などの検討が課題。  ○信号・交差点  ・特定経路における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討。 |
| ⑥特記事項・備考 | ・府立堺養護学校が府立堺支援学校に改称  ・市立百舌鳥養護学校が市立百舌鳥支援学校に改称  ・府立堺聾学校が府立堺聴覚支援学校に改称  ・府立百舌鳥学園が平成12年に市へ移管され、平成15年の市立北こどもリハビリテーションセンター開設に伴い市立第2もず園に改称  ・平成24（2012）年　堺市立健康福祉プラザ開設  ・平成29（2017）年　万代上野芝店開業 |